ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

各 位

平成２３年１２月６日

会 社 名　株 式 会 社 プ ロ ネ ク サ ス
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　上 野 剛 史
（コード番号　７８９３　東証第一部）
問合せ先　取締役執行役員 社長室長　大和田雅博
電話番号　０３－５７７７－３１１１

「第３回プロネクサス懸賞論文」の受賞作品決定

株式会社プロネクサスは、資本市場の健全な発展に寄与することを目指し、平成 21 年度から開始した「プロネクサス懸賞論文」を本年においても引き続き実施いたしました。このたび、受賞作品が決定いたしましたので、お知らせいたします。

「上場会社のディスクロージャー・ＩＲをより効果的、効率的なものにするための研究および提案」というテーマに対して、７本の論文の応募があり、審査委員会にて厳正かつ多面的に検討を行い、優秀賞１本、佳作１本の論文を選定いたしました。今回は、残念ながら最優秀賞は該当なし、となりました。

優秀賞は、金 鉉玉・安田行宏共著「リスク情報開示とリスクマネジメント体制整備に向けた新たな視点－ディスクロージャー制度の次なるステップへの展望－」です。本論文では、リスク情報開示の適用初年度から６年間にわたる 7,000 件超の開示事例分析結果をもとに、現行のリスク情報開示の実態が固定化・形骸化している可能性と、リスク情報開示はリスクマネジメント体制の改善を促すという効果を指摘しています。そしてこの実証結果から、「投資家の情報有用性の向上」と「経営者のリスクマネジメント体制の整備」という二つの視点に基づく具体的な提言を行っています。本論文はその完成度の高さ、比較的実行可能な改善案の提示、等から審査委員会では最優秀賞に推す声もありました。しかし、結論に対しいくつかの疑問が審査委員会で討議された点や、当論文の著者はリスク情報開示に関するデータ蓄積を十分に行っているようであり、今後も著者が研究成果を発表していくであろうことが期待される点からも、優秀賞に留めることといたしました。

佳作は、加藤良治著「マネジメント・アプローチがセグメント情報の開示に与えた影響」です。本論文は、マネジメント・アプローチ開始後のセグメント情報開示の実態の変化を網羅的に調査し、新基準の導入の有効性と弊害を指摘し、その改善案を提案しています。本論文は第一年度目のデータのみの分析であり、調査結果から導き出された結論についての疑問点も指摘されましたが、著者には今後の研究の継続とさらなる研究成果を導出することを大いに期待し、佳作とすることに決定いたしました。

弊社では、来年度以降も引き続き本懸賞論文の実施を予定しております。３回目となる今回は、論文内容の充実が多くの審査員の印象に残る結果となりました。来年度も本年度と同じテーマおよび募集要領で第４回目の論文募集を行います。より多くの論文の投稿を期待いたしております。

記

【第３回審査結果】

最優秀賞　該当なし

優秀賞　　１本

金　鉉玉（きむ ひょんおく）（東京経済大学経営学部 専任講師）
安田行宏（やすだ ゆきひろ）（東京経済大学経営学部 准教授）
「リスク情報開示とリスクマネジメント体制整備に向けた新たな視点
ーディスクロージャー制度の次なるステップへの展望ー」

佳　作　　１本

加藤良治（かとう りょうじ）（一橋大学商学部３年）
「マネジメント・アプローチがセグメント情報の開示に与えた影響」

【ご参考／第４回募集要項】

１．テ　ー　マ：上場会社のディスクロージャー・ＩＲをより効果的、効率的なものにするための研究および提案(但し、実証結果を出すための実証分析は不可。なお、提案を補強するための実証分析を論文の一部に含めることは可。また、ＩＲの具体的な表示方法等の工夫を提案することも可とする。)

２．応募締切日：平成24年9月20日（木）

３．応 募 資 格：40歳以下（平成24年9月20日現在）の日本在住の方。大学生・大学院生・研究者・一般社会人等。個人または共同執筆（２名まで）。

４．懸 賞 金 額：最優秀賞50万円（１本）、優秀賞30万円（１本）、佳作10万円（若干名）

５．審 査 方 法：下記の審査委員で構成する審査委員会で審査を行います。

委員長	慶應義塾大学商学部教授	黒川 行治
委員	早稲田大学商学学術院教授	川村 義則
委員	早稲田大学大学院商学研究科教授	小宮山 賢
委員	株式会社バリュークリエイト パートナー	佐藤　明
委員	青山学院大学大学院教授	多賀谷 充
委員	株式会社プロネクサス 代表取締役会長	上野 守生

（敬称略）

【問合せ先】

株式会社プロネクサス プロネクサス総合研究所　懸賞論文係　原口（はらぐち）・織田（おだ）
ＴＥＬ：03－5777－3032（平日9:00～17:30）
E-mail：souken@pronexus.co.jp

◎ 詳細は、弊社プロネクサス総合研究所ホームページをご参照ください。
http://www.pronexus.co.jp/home/souken/index.html

以上